

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●スプリンターズSではジャンダルムがG I 初制覇

10月2日(日)に行われたスプリンターズS(G I)ではジャンダルム(牡7歳/栗東・池江泰寿厩舎)が優勝、鞍上の荻野極騎手(栗東・フリー)とともにG I 初制覇を果たしました。ジャンダルムの母ピリーヴは2002年のスプリンターズS勝ち馬で、母子による同一G I 制覇は、2021年秋華賞のアカイトリノムスメ(母アパパネは2010年優勝)以来、JRA史上8例目、スプリンターズSでは初のこととなります。

### ●セブテンバーセール開催

9月20日(火)から22日(木)にかけて、北海道市場においてセブテンバーセール(主催・HBA日高軽種馬農業協同組合)が開催されました。1歳馬531頭(牡240頭・牝291頭)が上場され、落札413頭(牡196頭・牝217頭)、売却率は77.78%、売却総額は19億150万円。最高価格をつけたのは、牡馬がウインアイスバグ2021(父ドレフォン/近親に香港G 1・2勝のウインブライト)で2000万円、牝馬がグロッタアズーラ2021(父ミッキーロケット/兄は北海道2歳優駿勝ち馬ドンフォルティス)で1400万円でした(金額はすべて税別)。

### ●インティらの競走馬登録抹消

2019年フェブラリーS(G I)などの勝ち馬インティ(牡8歳/栗東・野中賢二厩舎/JRA通算17戦7勝・地方6戦0勝)、2018年朝日杯セントライト記念(G II)などの勝ち馬ジェネラーレウーノ(牡7歳/美浦・矢野英一厩舎/JRA通算21戦4勝)、2019年スポーツニッポン賞京都金杯(G III)の勝ち馬バクスアメリカーナ(牡7歳/栗東・中内田充正厩舎/JRA通算10戦4勝)は、9月23日(金)までに競走馬登録を抹消されました。インティは北海道新冠町の優駿スタリオンステーション、バクスアメリカーナは北海道新ひだか町のレックススタッドでそれぞれ種牡馬となり、ジェネラーレウーノは北海道安平町のノーザンファームで乗馬となる予定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●東京盃(大井)でレッドゼルが人気に応じて3度目の重賞制覇

東京盃(Jpn II、10月5日、大井、1200m)は、後ろから2頭目という位置から追いつけた1番人気のレッドゼル(川田将雅騎手、牡6歳、父ロードカナロア)が、先に抜け出した3番人気のティエムサウスダンを残り100mを切った辺りで捉えました。2番人気のオーロラテソーロは3着、スマートダンディーは4着、ケイアイターコイズは6着に終わっています。

### ●プリティーチャンスがレディズプレリュード(大井)で重賞初制覇

レディズプレリュード(Jpn II、10月6日、大井、1800m)は、5番手から差を詰めた2番人気のプリティーチャンス(岩田望来騎手、牝5歳、父シンボリクリスエス)がゴール前で差し切り勝ち。途中まで逃げていた単勝1.4倍で圧倒的人気のショウナンナデシコは、最後方から向正面半ばで一気に先頭を奪ったテリオスベルにも競り負けて3着、3番人気のフラーレンは4着、レディバグは7着に敗れました。

### ●ケイアイパールが白山大賞典(金沢)でJpn III 2勝目

白山大賞典(Jpn III、10月4日、金沢、2100m)は、3番手追走から2周目3コーナー手前で抜け出した2番人気のケイアイパール(藤岡康太騎手、牡6歳、父パイロ)が、ラーゴムに2馬身半差を付けて完勝。3番人気のカフジオクタゴンが3着、1番人気に推されたブリッツファングは5着、メイショウカズサは6着でした。

### ●10月10日の南部杯(盛岡)に3連覇を目指すアルクトスが参戦

マイルチャンピオンシップ南部杯(Jpn I、10月10日、盛岡、1600m)は、アルクトスが中心、以下カフエファラオ、ソリストサンダー、ヘリオス、シャマル、イグナイター(兵庫)、エアスピネル、サンライズノヴァの順に有力視されます。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G 1凱旋門賞〜アルピニスタがG 1・6連勝で戴冠

現地10月2日にフランスのパリロンシャン競馬場で行われたG 1凱旋門賞(3歳上牡・牝、芝2400m)は、イギリスのアルピニスタ(牝5歳、父フランケル)が道中5番手追走から残り300m付近で先頭に立って優勝しました。重馬場の勝ちタイムは2分35秒71。半馬身差の2着に今年の仏ダービー馬ヴァデニ。そこからクビ差の3着に昨年の凱旋門賞馬トルカータータツソが入りました。史上最多の4頭が出走した日本調教馬は逃げたタイトルホルダーが11着で最劣着。以下、ステイフリーッシュが14着、ディーブボンドが18着、ドウデュース19着という結果でした。勝ったアルピニスタはこれで昨年4月のリステッド優勝から8連勝。G 1は、昨年8月のベルリン大賞(芝2400m)を皮切りに、9月のオイロパ賞(芝2400m)、11月のバイエルン大賞(芝2400m)、今年に入って7月のサンクルー大賞(芝2400m)、8月のヨークシャーオークス(芝2370m)に続く6連勝で6勝目となりました。鞍上のL.モリス騎手、管理するM.プレスコット調教師とともに凱旋門賞初制覇です。